

## 市長コメント

東北地方や関東地方を襲った地震は、世界最大規模のM9.0と発表されました。

凄まじい被災状況が刻一刻と明らかになり、我が国の観測史上、最大の惨事となっております。

お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りするとともに被災された方々の一刻も早い救出を心より願っております。

呉市といたしましては、本日、市長である私を本部長とする災害復旧支援本部を立ち上げました。呉市は、これまで何度も災害（H13.3芸予地震、H18.8水道送水管事故など）に見舞われ、その都度、様々な心温まる支援をいただいた経緯もありますので、今回、市として最大限の支援を行って参ります。

### （支援状況）

現在、被災地では懸命の救出作業が行われており、呉市としても、被災後すぐにまず救出・救命に必要な消防車両・人員、給水車の派遣を行っています。

今後、さらに保健師や土木技師等、職員の派遣要請に応えるための準備も行っております。

また、呉市では、救援物資について、提供可能な物資の数量確認、輸送手段の確保等提供体制を整え、救援を統括する国や被災県からの救援依頼にすぐに応えられるよう準備しています。なお、個人からの物資の支援は、現地での調整機能が不十分なままに行われると、結果的に市民の皆様のご好意が活かされないことになることから、受付は行いませんので、ご理解ください。

義援金については、本日、本庁舎、すこやかセンター、大和ミュージアム及び各市民センターに募金箱を設置いたしました。市民の皆様におかれましても、それぞれの立場において、支援の御協力をお願いします。（日本赤十字社呉市地区長へ寄託予定）

今回の災害は極めて激甚で、国を挙げての支援が長期間にわたって必要になると考えられます。市民の皆様のお力の長いご協力をお願いいたします。